

2009年11月20日

各位

双日株式会社

双日、ロシア穀物協会と戦略的パートナーシップ契約を締結
～ロシア小麦をアジア市場にて拡販～

双日株式会社は、ロシア穀物協会（Russia Grain Union、本部所在地：モスクワ市）と、世界最大の小麦消費市場の一つであるアジア市場でのロシア小麦の販売促進に向け戦略的パートナーシップ契約を締結しました。ロシア穀物協会がアジア企業と戦略的パートナーシップ契約を結ぶのは今回が初めてです。

ロシアは現在、米国・カナダ・豪州と並び、世界の主要小麦輸出国で2008年の年間輸出货量見通しは1840万ト（世界第3位）です。ロシア農業省は2018年には小麦輸出货量を3500万トまで拡大する計画を打ち出しており、ロシアは将来的に世界最大の小麦輸出国になるとみられています。

アジアの小麦市場は、人口の増加や経済成長に伴う食の欧米化を背景に拡大しており、2008年のアジアの小麦輸入量は3450万トです。これは世界の小麦輸入量の約26%を占めます。

双日は、アジア市場向けに約40年にわたる小麦販売の実績があり、2008年の小麦の取扱量は約400万トで、これは世界の小麦輸出货量の約3%にあたります。特に、インドネシアでは、同国最大の製パン事業や製麺事業を展開しており、また、ベトナムでは、同国の大手製粉会社であるインターフラワーベトナム社（Interflour Vietnam Limited）に出資するなど、小麦の加工事業者としての展開も併せて進めています。

双日とロシア穀物協会は、本提携の第一歩として、2010年2月下旬に、シンガポールにおいてロシア穀物セミナーを共同で開催し、ロシア小麦の拡販を図ります。さらに、今後、アジア市場に加え、有望な小麦消費地域に成長するとみられる中東・アフリカ市場の開拓や、小麦の安定供給にかかわる施策についても検討を進め、食料資源の確保や供給の安定化に貢献していきます。

以上

参考資料

■ ロシア穀物協会

企業名： Russia Grain Union

住所： ロシア連邦モスクワ市

内容： ロシアを含め 29 カ国に 500 社以上の会員を有する協会で、ロシア産穀物の販促活動を行っており、ロシア農務省との繋がりも深い。

■ 小麦主要輸出国実績（見通し）

2008年	生産量	輸出量	(単位:万ト)
ロシア	6370	1840	
アメリカ	6800	2760	
カナダ	2860	1880	
オーストラリア	2150	1480	
EU	15100	2540	資料:米国農務省2009年

■ アジアの小麦輸入量 3450 万トの主要輸入国と人口

2008年	小麦輸入量 (万ト)	人口 (百万人)	
インドネシア	560	235	
日本	550	127	
韓国	460	48	
フィリピン	280	94	
パキスタン	250	169	
マレーシア	150	25	
ベトナム	150	85	
タイ	120	65	資料:米国農務省2009年
バングラデシュ	20	150	*人口は2007年時点

【本件に関する問い合わせ】

双日株式会社 広報部 03-5520-2299